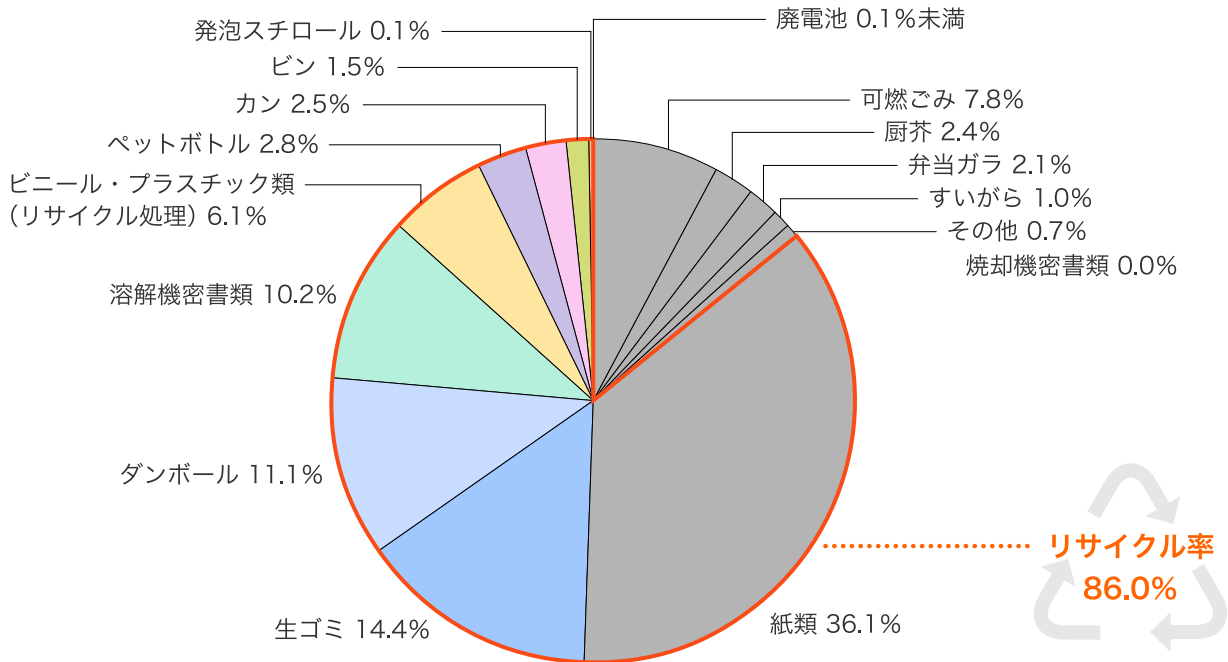


2010 年度実績

新宿パークタワーでは、オフィス・店舗から回収した廃棄物を18品目に分別し、リサイクルまたは廃棄処分を行っています。平成22年度にこのビルのオフィス・店舗から排出された廃棄物の総量は、約1106トン。そのうち約86%がリサイクル処理されました。以下は、18品目の内リサイクル処理をしている主な品目の回収量と回収後の流れを示したものです。限りある資源を有効活用するために、今後ともオフィス・店舗での分別廃棄にご協力をお願いいたします。

【2010年度 新宿パークタワー廃棄物排出量実績の内訳（オフィス・店舗分）】

年間排出量：1106トン



【リサイクルしている品目の内訳】

分類		品目	年間回収量	回収後の流れ
生ゴミ		調理くず、食べ残し等の食品ゴミ	約 160t	処理場にて回収した生ゴミを細分化し、発酵させることで発生するメタンガスを利用して、「電気」と「熱」をつくり、工場内で自家消費及び売電をしています。
上質紙		白紙、OA用紙、再生紙、タイプ紙などの白色紙白黒のコピー用紙	約 22 t	溶解・洗浄、さらに漂白を行った後、トイレットペーパー、コピー用紙に再生されています。
雑誌		雑誌、週刊誌、カタログ、広告、チラシ、カラーでコピーした紙	約 150 t	雑誌、お菓子・靴・洗剤の箱に再生されています。
新聞紙		新聞紙	約 21 t	新聞紙に再生されています。
ミックス紙		上質紙・雑誌・新聞紙・シュレッダー紙以外の紙類すべて カーボン紙、コート紙、ラベル、感熱紙、写真、手紙、封筒（窓付も）、包装紙、紙袋、銀紙、菓子箱、紙の切れはしなどの紙ごみ、紙コップ	約 116 t	溶解・分別・洗浄、さらに漂白を行った後、トイレットペーパーに再生されています。
シュレッダーごみ		シュレッダー機で処理された紙ごみ	約 97 t	
ダンボール		ダンボール	約 123 t	使用済ダンボールから、ダンボール原紙をつくりダンボールに再生されています。
ペットボトル		 マーク付きの飲料・調理用のペットボトル	約 30 t	粉碎、洗浄後ペットフレックにした後プラスチックメーカー、繊維メーカーにて各種製品化されます。（洋服、クリアファイル、ペットボトルなど）
カン		飲料用、料理用の空きカン、お菓子や海苔の缶などすべての缶類	約 28 t	選別・圧縮した後、鉄・アルミを再資源化。その後鋼材などに製品化されています。
ビン		飲料用、料理用の空き瓶	約 17 t	破碎・洗浄後、ガラス・ビンの原料として再資源化されています。
ビニール・プラスチック		各種ビニール・プラスチックの製品 ・CD-ROM、ネガ、クリアファイル、ポリ袋、ボールペン ・ボトル・チューブ類（ソース・ドレッシング、歯磨き粉等のチューブ） ・Vベルト、輪ゴムなどのゴム類 ・OAタップなどのコード類	約 67 t	焼却を行い、発生した「熱」で発電を行い、電力として処理施設内で利用されます。 また、焼却灰はさらに熔融、無害化され（スラグ）、土木・建築資材として再利用されています。
発泡スチロール		発泡スチロールの生鮮食品箱や精密機器類の箱など発泡スチロールの緩衝材	約 1.5 t	
乾電池		乾電池	約 0.4 t	選別後、高温で加熱し「鉄」・「亜鉛」に分けられます。その後、それぞれ資源として活用されます。